

# プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人 CAPS

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度、写真の肖像権問題がないもの)の提出をお願い致します(を添付して下さい)。

## 1. プロジェクト名

Windows8の操作を取得して生きがい・就労のステップアップ

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現在の社会では、IT化の進展にともない障がい者でもパソコン技術を習得していなければ、教育や就労に大きなハンディが生じています。また、障がい者の多くにはパソコン技術に興味を抱く人が多く支援の如何により教育や就労に大きな展望が開ける場合があります。これらの経験からパソコン操作学習を求める人に私達は支援を続けています。OS(今回はWIN8)のバージョンアップしたパソコンを購入して持ち込みこのパソコンの操作技術の習得を求められてきます。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

知的・精神・身体に障がいを持つ人、障がいを持つ親子、高齢者のパソコン教室、青梅市障がい者サポートセンター出張パソコン教室にてパソコンを主に教えています。Windows8のパソコンを購入して教育資料の作成と教師陣の強化を行いました。新OSに対してサポーターが一定の理解ができ、Windows8を使っているパソコンを持参してくる利用者に対応する事が出来ました。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

利用者が使っているパソコンの持ち込みを許可しているので、XPからWindows8までのOSに対応して操作のサポートをしています。OSが新しくなるたび利用者より早く理解してサポートできるようにスキルアップが必要になります。そのため学習会を行うため一定の数のパソコンが必要になります。必要台数を確保するため「WindowsOffice」の入ってないパソコンを購入しました。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

パソコン操作を覚えたいという希望は障がい者や高齢者に多く時間をかけて覚えていただくように対応していますが、パソコンのOSのバージョンが上がるとサポーターのレベルアップが必要になります。そのため新OSのパソコン購入をボランティアの負担で行うことが困難なので、組織での購入が必要になってきます。必要最小台数の購入をするにしても高額なものになりボランティア団体が負担するには大変です。今回、支援をいただき対処できたことはありがたいことでした。今後、パソコンサポートをしていく問題として、OSのバージョンがUPした場合いち早く対応していくことが課題になります。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成購入品および活動写真



上写真 購入品 Sony 製 2 台



左写真 購入品  
東芝製 1 台



上写真 デ스플레이を開いた PC (Sony 製)



上写真 デ스플레이を開いた PC (Sony 製)



上写真 デ스플레이を開いた PC (東芝製)



Windows8 の講習会風景